

ネットバンキング不正送金被害、11億円超える

インターネットバンキングの不正送金の被害が今年1月から先月末までに11億8000万円あまりに上ったことが警察庁のまとめで分かりました。

警察庁によりますと、今年1月から先月末までに全国の警察で確認されたインターネットバンキングの不正送金の被害は総額およそ11億8400万円に上り、過去最悪だったおとし1年間の被害額の4倍近くに増えました。

利用者のパソコンをウイルス感染させてIDやパスワードを盗み取る手口に加え、先月からは銀行を装ったメールを送りつけ、偽のログイン画面に誘導してパスワードなどを入力させるフィッシングの手口も28件確認されたということです。

引き出された被害金が銀行口座を使わずに送金できる海外送金サービスを悪用してウクライナやロシアなど少なくとも10か国に送られたことも確認されたということで、警察当局は各国の捜査機関に協力を求めるなどして送金ルート of 解明を進めています。
(12日18:33)